

働的な学びの充実 ②情報活用能力の向上 ③学びの伴

でやりとりする場面
)→80%(R8)
)→80%(R8)
 わせて課題に取り組
)→80%(R8)
)→80%(R8)

K
P
I

- ✓ 情報活用能力の底上げ
 - ①小:レベル3、中:レベル5以下の減少※
 - 小：49.9%(R4)→20%以下(R8)
 - 中：57.1%(R4)→20%以下(R8)
- ✓ ②キーボードによる日本語入力スキルの向上
 (文字/分)
 小：15.8字(R4)→40字(R8)
 中：23.0字(R4)→60字(R8)

(※) 情報活用能力を9段階(レベル9が最高)に分けて調査している(主な観点として、①基本的な端末操作等、②問題解決・探究における情報活用、③プログラミング、④情報モラル・セキュリティが含まれている。)

K
P
I

- ✓ 希望する不登校児童生徒への参加・視聴の機会を提供
 - 100%(R8)
- ✓ 希望する児童生徒への端末実施している学校の割合
 - 100%(R8)
- ✓ 外国人児童生徒に対する端末を活用している学校の割合
 - 100%(R8)
- ✓ 障害のある児童生徒や病気を要する児童生徒の実態した支援を実施している学校
 - 100%(R8)

「キーボードによる日本語入力スキルの向上」も含まれ指標達成に、課題を抱える自治体も少なくないと思われます。

この動画では、指標達成に貢献する「ゴールドフィンガースクール キッズ」を紹介します。

「キーボードによる日本語入力スキルの指標」

区分	令和4年(現状)	令和8年(目標)
小学5年生	15.8 字/分	40.0 字/分
中学2年生	23.0 字/分	60.0 字/分

「キーボードによる日本語入力スキルの指標は、

1 分間に入力できる文字数で

令和8年、小学5年生は 40 字、中学2年生は 60 字です。

課題文は非公表で、課題文に類似のサンプル文（287文字）

えいたさんは、休みの日に家で作った臭たくさんみそ汁の作り方について、クラスの友達に伝えるためにスピーチメモを作りました。

(1) じゃがいもは厚さ1cmのいちよう切り、ごぼうはさがきにして、水に5分ほどさらします。大根は厚さ5mmのいちよう切り、にんじんは千切りにします。ねぎは、小口切りにします。

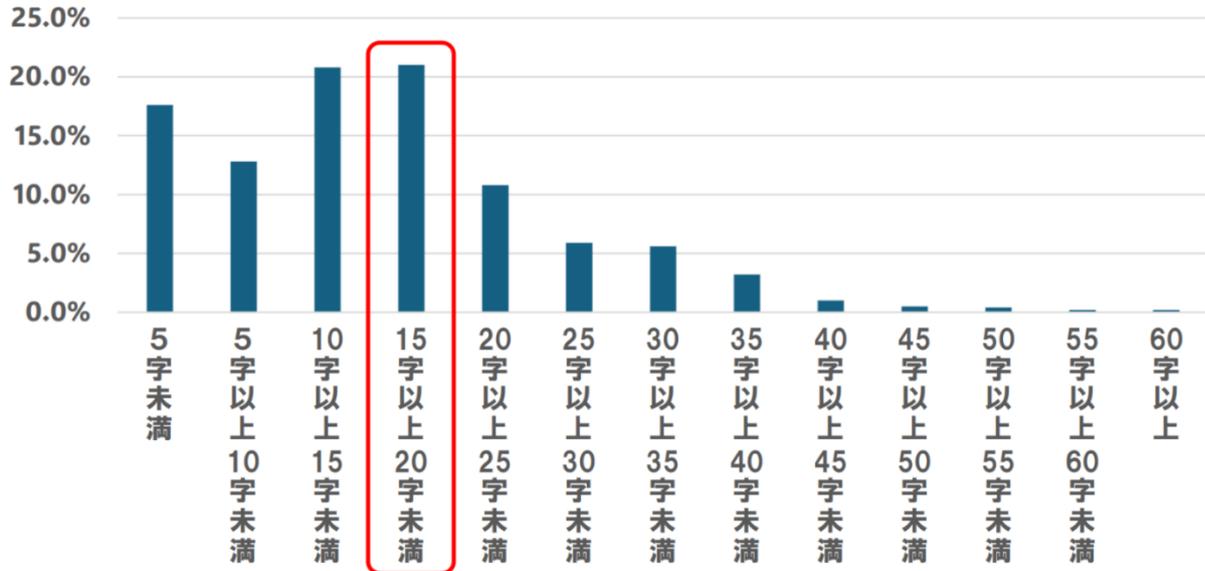
(2) だし汁、じゃがいも、大根を鍋に入れて火にかけます。煮立ったら、にんじん、ごぼうを加えて、やわらかくなるまで弱火で10分ほど煮ます。

(3) みそをボウルに入れて、煮汁を大さじ2程度加えて溶き伸ばし、鍋に入れます。ねぎを加え、ねぎに火が通ったら汁わんに盛り付けて完成です。

令和4年の調査に使われた問題のサンプルです。

平仮名、片仮名、漢字、アルファベット等を組合せた問題です。

【小学5年生】1分間あたりの文字入力数の分布

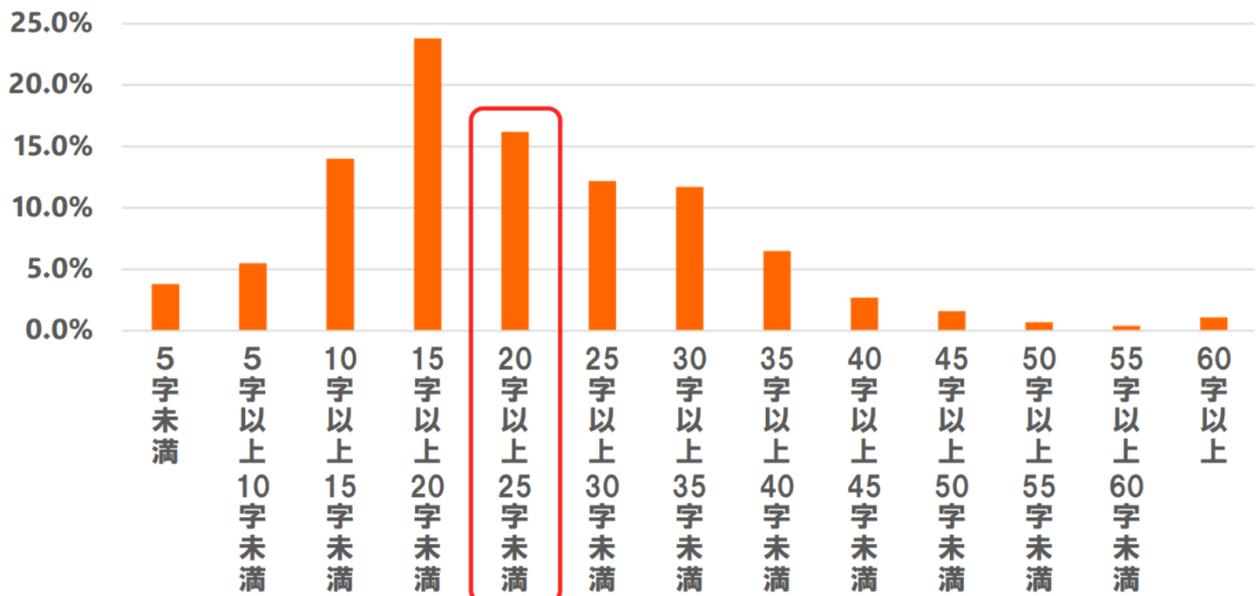


令和4年の文字入力調査の結果で、1分あたりの文字入力数のグラフです。

横軸は、入力できた文字数 縦軸は、全体でできた人の%です。

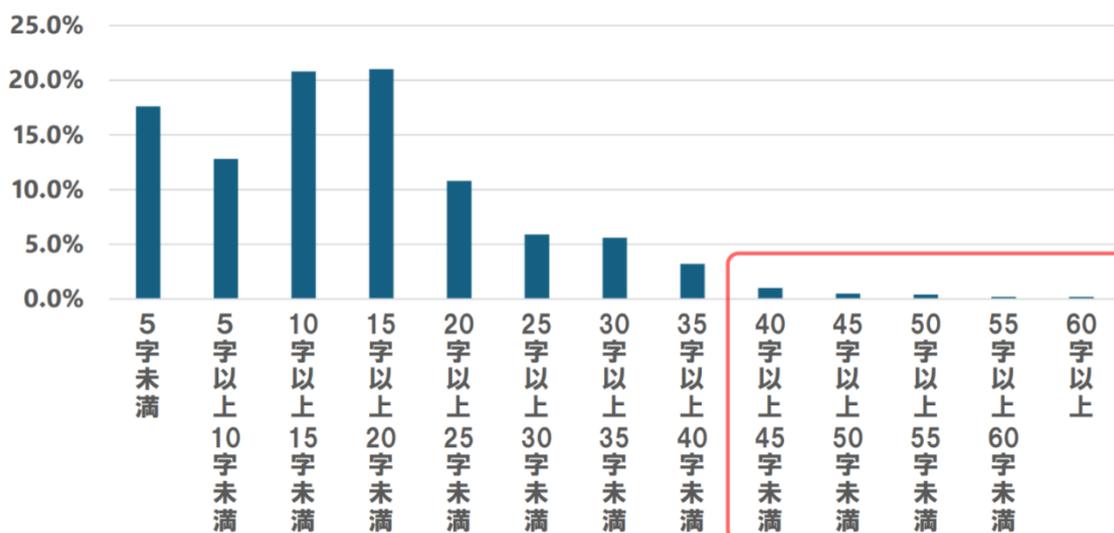
小学5年生の平均は、15.8字です。

【中学2年生】1分間あたりの文字入力数の分布



中学2年生の平均は、23.0字です。

【小学5年生】1分間あたりの文字入力数の分布



小学5年生の目標40字以上は2.3%とごくわずかで、指標達成に多くの課題があります。文部科学省は、キーボードで文字を入力する課題の調査を行い、その結果を報告しています。

① 基本を守った操作の学習

文部科学省 情報活用能力より

1. ホームポジションを意識する。
2. 母音と子音の関係を理解し、両手の指を使って文字入力する。

② 日本語入力システムを使う学習 (MS-IMEやATOCなど)

3. [backspace][delete][カーソル]を用途に応じて使い分ける。
4. 長音、撥音、拗音などのローマ字入力を理解する。
5. 漢字変換の仕方や適切な文節区切り、次候補の選択の仕方を理解する。
6. 半角と全角の見分け方やアルファベット、カタカナ、半角変換を理解する。

調査の結果、「キーボードでの文字入力に必要な学習内容」が6つ示されました。この6つは 「基本を守った操作の学習」と「日本語入力システムを使う学習」の2つとして表現できます。

ゴールドフィンガースクールキッズは、この必要な項目全てを学習できるソフトです。

① 基本を守った操作の学習



まず、1 番目の「正しい基本を守った操作の学習」を他のタイピングソフトと比較しながら特徴を紹介します。

キーの位置、押す指、ホームポジションに残す指がひと目で分かります。

ホームポジションに指を残すので、間違わずに押すことができます。

本システムでは、全てのキーを押す手本を準備しています。

アルファベット
小文字26字の練習



1 2 3 4 5
6 7 8 9 0 の練習



右手記号
., / ; : @ - [] の練習



アルファベット
大文字26字の練習



Shift+数字
! " # \$ % & ' () の練習



Shift+右手記号
<> ? + * ` = { } の練習



基本を守った操作の教え方の違い

床屋さんに出かける
TOKOYASANNNIDEKAKERU

(A)

(B)



(C)

(D)



A は、問題だけが表示されるので、指の動かし方はわかりません。

B も、どの指をどの様に動かせばいいかわかりません。

C は、動かす指は分かりますが、ホームポジションからの動かし方がわかりません。

D は、押す指、残す指が分かるのでホームポジションからの動かし方が分かります。
分かりにくい手本では、悪い癖がつくので注意が必要です。

学校でも使われるタイピングソフトの画面

(A)



(C)



(D)



(B)



(C)



(D)



学校でも使われるタイピングソフトの画面です。

小学校、中学校で悪い癖をつけると直すのに一生苦労します。

② 日本語入力システムを使う学習 (MS-IMEやATOCなど)

問題文

よい詩や文は、心の宝ものです。
なくさめ、はげましてくれる、こころのふるさとです。
よい詩や文は、ことばの宝ものです。
心にきざんだ、リズムが、自分の表現をうみます。

入力欄

よい詩やぶんは、

変換・空白・確定・改行・BS・DEL、漢字・カタカナ・数値・記号の入力、文節変換・文節区切り・文節の長さ変更などを練習する。

次に、2番目の「日本語入力システムを使う学習」を紹介します。

問題文を入力欄に入力します。変換や確定、改行などの練習をします。

② 日本語入力システムを使う学習 (MS-IMEやATOCなど)

問題文

よい詩や文は、心の宝ものです。
なくさめ、はげましてくれる、こころのふるさとです。
よい詩や文は、ことばの宝ものです。
心にきざんだ、リズムが、自分の表現をうみます。

入力欄

よい詩や文は、心の宝ものです。
なくさめ、はげましてくれる、こころのふるさとです。
よい詩や文は、ことばの宝ものです。
心に刻んだ、リズムが、自分の表現をうみます。

問題文字数: 83
入力文字数: 82
正解: 81
誤字: 1
余字: 0
脱字: 1
削除回数: 0回
入力時間: 1分4秒
入力速度: 75字/分
正解率: 96.4
ポイント: 96点

OK

文章練習の結果は、問題文と入力した内容を比べて自動採点します。

入力文字数、誤字、余字、脱字、入力時間、入力速度、正解率 を瞬時に表示します。

自動採点の機能は、日本語入力システムの学習に不可欠ですが、多くのタイピングソフトは、自動採点の機能がありません。

紛らわしいタイピングソフトの例

床屋さんに出かける

TOKOYASANNIDEKAKERU



見かけ上の日本語入力を行っているソフトの例です。

問題に日本語を表示していますが、TOKOYASANと入力しても、日本語にはなりません。文節の区切りを考えて変換したり、確定などの操作を行わず、日本文を入力する練習はできません。

キーボードでの文字入力に必要な学習内容

学習(練習)内容	 ゴールドフィンガースクールキッズ	寿司打	e-typing	キーボードアドベンチャー	プレイグラムタイピング	
	指の動かし方	●	×	×	×	●
	指の手本、手形表示	●	×	×	×	●
	ローマ字入力	●	●	●	●	●
	未確定、確定、改行	●	×	×	×	×
	変換	●	×	×	×	×
	文節の区切り	●	×	×	×	×
	「、」「。」	●	×	×	×	×
	文章	●	×	×	×	×
	英小文字、大文字	●	×	×	×	●
	数字キー、記号	●	×	×	×	●
	右手記号	●	×	×	×	●
ガイド機能	●	×	×	×	×	

児童生徒が「キーボードで文字を入力する学習に必要な内容」を示しています。

①基本を守った学習ができないもの

ホームポジションに指を置き、迷わずに指を動かす事ができないもの。

②日本語入力システムの学習ができないもの

日本語入力システム（MS-IME、ATOC など）を使った入力の練習ができないもの

③英文、プログラムの入力の練習ができないもの

Shift キーを使って英大文字の練習、最上段の数字キーの練習などができないもの

学校でも使われるタイピングソフトが、「キーボードで文字を入力する学習に必要な内容」を満たしていないことが分かります。

「ゴールドフィンガースクール キッズ」が、必要な学習内容を備えた可能性のある学習コンテンツと言えます。

CBT 記述式問題への日本文入力の練習

令和3年度の全国学力・学習調査の中学国語の CBT 記述式の問題です。

「なお、」に続けて問題に沿ったメールの続きを入力します。

宛先: △△△△@△△△.△△.jp

件名: Re: Re: 焼き物作りの体験について

2021/05/14

ふるさと焼き物館 前田 花子 様

第一中学校の青木です。ご返信くださりありがとうございます。
希望のコースと人数ですが、Aコース2名、Bコース2名でお願いいたします。当日は開始時刻の10分前④に行く予定です。

なお,

第一中学校 青木 太郎

日本文を入力

青木さんが送信する「二回目のメールの」

CBT 記述式問題に解答するには、日本文を入力する必要があります。

日本文を入力する練習は、日本文を数多く入力する練習で力がつきます。

本システムは、短文から長文まで、多くの問題を準備しているので、CBT 記述式問題を解答する練習に役立ちます。

